



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

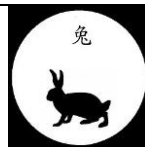
朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp

発行責任者 校長 栗飯原 かをり

卯年、飛躍の年へ



自己肯定感・自己有用感の高い子に育てましょう！！

～学びを止めない～すべては子供たちのために～

令和も5年を迎えます。来年は卯年、うさぎ年です。うさぎのジャンプのように大きな飛躍の年としたいものです。

学校では、3学期が始まり、年度のまとめの時期です。学習面、生活面両面の成果と課題を明らかにし、来年度の準備のため、各学年の総まとめをまいります。

年の初めであり、年度の締めくくりである大切な時期にすべきことをご家庭でもお子様と向き合い、一緒に考えてみてください。昨年の今頃、保育園児、幼稚園児だった子がもう、1年生を終えようとしています。また、6年生は、あと3ヶ月で中学生になります。子供たちは恐ろしいほどのスピードで成長していきます。さて、各ご家庭でもそれぞれのお子様について考えてみてください。この1年で大きく力をつけ、成長したところはどこでしょう。また、もう少し頑張らせた課題は何でしょう。よくできたことや頑張ったことを大いにほめ、課題については目をつぶらず、スモールステップでめあてを定め、見守っていきましょう。自己肯定感、自己有用感を育てるのは私たち大人の役目です。子供の行動を見守り、努力が見えた時、頑張りが始めたとき、まず、はじめのほめ時です。何かをはじめてときにほめてもらえたら、子供は「あ、お母さん見ているんだ！」「お父さん、気づいてくれた！」と、なり、さらなる意欲につながります。努力や頑張りは継続し、積み重ねることによって力となります。スタート時点でエールを送り、進捗状況を見守り、くじけそうになってきたらそっと支援して見守り続けましょう。そして、努力し続ける姿勢、頑張りが続く姿勢を大いに称賛しましょう。続けること、積み重ねることの大切さに気付かせることができたなら、結果は後からついてきます。「継続は力なり」です。その中で自己肯定感や自己有用感は育ちます。さらに、子供たちをよく見て、対話をしましょう。子供たちの可能性を信じて、今すべきことから目をそらさず、毎日の積み重ねが大きな成長につながることを教えましょう。また、親だからといって、子供の全てを管理しようとするのは、正しくありません。子供に考え、選択する機会を意図的に設け、自己管理の力も養いましょう。

大人は忙しいですね。なかなかお子様と向き合う時間を作ることが難しいご家庭もあることでしょう。かく言う私も忙しく働く母親の一人です。子供が小学生の頃も、子供よりも先に家を出て、帰りも遅く、なかなか学校行事などにも参加できませんでした。しかし、子供との関係づくりは「時間」ではありません。「密度」です。必要と思うときにはじっくりと向き合い、たくさん話をしてきました。対話は大事です。後は、後ろ姿で教えるしかありません。子供はちゃんと見ています。感じ取っています。私たち大人も自信を持って子供を育てましょう。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

